



平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,703	7.8	229	15.3	236	10.9	160	12.3
25年12月期第3四半期	2,509	7.6	199	11.4	213	13.6	142	5.0

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 160百万円 (9.3%) 25年12月期第3四半期 146百万円 (9.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	16.57	16.56
25年12月期第3四半期	14.77	14.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	2,469	1,997	80.9	206.85
25年12月期	2,471	1,932	76.1	194.63

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,997百万円 25年12月期 1,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	4.50	4.50
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	15.8	420	32.0	420	24.5	275	24.7	28.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	10,238,000 株	25年12月期	10,238,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	582,237 株	25年12月期	582,237 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	9,655,763 株	25年12月期3Q	9,650,012 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和策等の影響により企業業績が改善したことを受け、景気は穏やかな回復が続いております。しかしながら、新興国経済の成長懸念や先進国における金融政策の動向など、日本経済の先行きに対する不安定要素も強く、楽観視出来ない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、金融市場が昨年引き続き好調を維持していることを受けて、投資信託関連や証券・生命保険資料に関する印刷・配送業務が順調に業績を伸ばしてきております。また、大手証券会社向けASPサービスやオンライン証券を通じた個人投資家向けサービスも同様の理由により受注量が着実に伸びてきております。一方で、企業規模の拡大と業績の安定を目的とした他業種へのサービス展開を積極的に推進し、既存事業以外の複数の事業への投資を継続して行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,703百万円（前年同期比194百万円増、7.8%増）、営業利益は229百万円（前年同期比30百万円増、15.3%増）となりました。また、経常利益は236百万円（前年同期比23百万円増、10.9%増）、四半期純利益は160百万円（前年同期比17百万円増、12.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）、資本市場関係者向けリアルタイムニュースなどの主力商品は全般に渡って堅実に業績を伸ばしております。また、昨年に引き続き大手証券会社向けASPサービスも順調に業績を伸ばしてきております。

その結果、売上高は514百万円（前年同期比47百万円増、10.2%増）、営業利益は232百万円（前年同期比25百万円増、12.2%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

株式市場の活況に伴い、昨年まで続いておりました証券調査レポート・IR関連印刷物の受注量減少傾向が下げ止まりを見せており、関連する配送関連事業が増加傾向に転じるなど明るい兆しが見えてきております。一方で、昨年まで順調に業績を伸ばしてきた翻訳関連事業やE-mail・Fax同報配信サービスなどの高付加価値商材が、大口顧客の需要減少の影響により減収となっております。

その結果、売上高は667百万円（前年同期比12百万円増、1.9%増）、営業利益は64百万円（前年同期比26百万円減、29.3%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場は、昨年の活況が今年に入っても継続しており、投資信託のファンド数及び純資産総額ともに増加傾向が続いております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量が、昨年からの増加傾向を継続しており着実に業績を伸ばしております。また、確定拠出年金関連の印刷やソリューションサービス、運用報告書などの新たな商材も、好調を維持しております。

その結果、売上高は1,050百万円（前年同期比142百万円増、15.6%増）、営業利益は229百万円（前年同期比26百万円増、13.2%増）となりました。

<ITソリューション事業>

主力事業である証券・金融業向けシステムソリューションサービスは既存顧客との取引が堅調に推移するとともに、マイグレーションに関連する受託開発サービスへの引き合いが順調に伸びてきております。

その結果、売上高は464百万円（前年同期比16百万円増、3.6%増）、営業利益は11百万円（前年同期は営業損失23百万円）となりました。

<その他事業>

「データ化サービス」や「検索エンジンサービス」などの提供を開始し、より利便性の高いサービス内容の追求に従事しております。

その結果、売上高は6百万円（前年同期比23百万円減、78.2%減）、営業損失は21百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し2,469百万円となりました。

流動資産は50百万円増加し、2,054百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が60百万円増加する一方、売上高の変動に伴い受取手形及び売掛金が32百万円減少したことによるものであります。固定資産は51百万円減少し、414百万円となりました。主な要因は、減価償却などにより無形固定資産が26百万円減少したこと、事務所移転による保証金返金などにより投資その他の資産が25百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ66百万円減少し471百万円となりました。

流動負債は66百万円減少し、455百万円となりました。主な要因は、買掛金が32百万円、未払法人税等が58百万円減少したことによるものであります。固定負債は0百万円増加し、16百万円となりました。主な要因は、その他固定負債が0百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、1,997百万円となりました。主な要因は、四半期純利益160百万円の計上と、剰余金の配当43百万円及び少数株主持分53百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年4月23日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,513,551	1,574,214
受取手形及び売掛金	397,926	365,627
仕掛品	23,537	47,930
その他	71,063	67,495
貸倒引当金	△1,262	△433
流動資産合計	2,004,816	2,054,834
固定資産		
有形固定資産	44,580	44,660
無形固定資産		
のれん	—	2,629
ソフトウェア	145,566	116,340
ソフトウェア仮勘定	—	337
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	147,036	120,777
投資その他の資産	274,681	248,987
固定資産合計	466,298	414,426
資産合計	2,471,114	2,469,260
負債の部		
流動負債		
買掛金	181,293	148,586
未払法人税等	89,696	30,786
賞与引当金	11,742	38,086
その他	239,219	237,910
流動負債合計	521,951	455,370
固定負債		
退職給付引当金	14,435	14,321
その他	2,007	2,280
固定負債合計	16,442	16,602
負債合計	538,394	471,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	382,010	382,010
資本剰余金	437,810	437,810
利益剰余金	1,125,074	1,241,664
自己株式	△77,928	△77,928
株主資本合計	1,866,965	1,983,555
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	△26
為替換算調整勘定	12,299	13,759
その他の包括利益累計額合計	12,383	13,732
少数株主持分	53,372	—
純資産合計	1,932,720	1,997,288
負債純資産合計	2,471,114	2,469,260

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,509,358	2,703,984
売上原価	1,590,320	1,769,859
売上総利益	919,037	934,125
販売費及び一般管理費	719,606	704,179
営業利益	199,430	229,945
営業外収益		
受取利息	937	1,998
受取配当金	460	426
持分法による投資利益	4,277	1,432
為替差益	1,884	1,941
保険解約返戻金	4,144	—
その他	1,959	593
営業外収益合計	13,663	6,392
営業外費用		
その他	4	14
営業外費用合計	4	14
経常利益	213,089	236,323
特別損失		
固定資産除却損	1,171	29
事務所移転費用	1,165	—
特別損失合計	2,336	29
税金等調整前四半期純利益	210,753	236,293
法人税、住民税及び事業税	84,664	75,904
法人税等調整額	△14,439	1,442
法人税等合計	70,224	77,346
少数株主損益調整前四半期純利益	140,528	158,947
少数株主損失(△)	△2,010	△1,094
四半期純利益	142,539	160,041

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	140,528	158,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	691	△111
持分法適用会社に対する持分相当額	5,445	1,460
その他の包括利益合計	6,136	1,349
四半期包括利益	146,665	160,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,675	161,390
少数株主に係る四半期包括利益	△2,010	△1,094

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション事 業				
売上高								
外部顧客への売上高	466,393	655,547	908,869	448,548	30,000	2,509,358	—	2,509,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	22,497	—	7,766	—	31,264	△31,264	—
計	467,393	678,045	908,869	456,315	30,000	2,540,622	△31,264	2,509,358
セグメント利益又は 損失(△)	207,277	91,485	203,163	△23,273	18	478,670	△279,239	199,430

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データベース等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△279,239千円には、セグメント間取引消去△2,133千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△277,105千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	投資情報 事業	ドキュメン トソリューション 事業	ファンドデ ィスクロー ジャー事業	I Tソリュ ーション事 業				
売上高								
外部顧客への売上高	514,049	667,813	1,050,878	464,687	6,554	2,703,984	—	2,703,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,000	20,228	40	19,660	15	40,944	△40,944	—
計	515,049	688,042	1,050,919	484,347	6,570	2,744,928	△40,944	2,703,984
セグメント利益又は 損失(△)	232,612	64,668	229,904	11,236	△21,213	517,208	△287,262	229,945

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データベース等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△287,262千円には、セグメント間取引消去△1,356千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△285,906千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。